

平成30年度 第3回学校運営協議会議事録

平成31年2月13日（水） 15時00分～16時45分

於校長室

出席者 校長 田尻 由美子  
会長 近藤 潤 (摂南大学スポーツ振興センター准教授)  
副会長 原田 幸三 (地域教育協議会会長)  
委員 小林 鶴男 (寝屋川市立第八中学校校長)  
田中 實 (本校キャリア教育支援員)  
事務局 池田 弘 教頭  
香川 義明 事務長  
岡田 伸治 首席  
服部 有晋 首席

司会：教頭

1. 学校長挨拶

- ・近況報告と平成30年度を振り返って
- ・来年度の目標に対して、「大きな変更は考えていない」との方針表明

【資料確認】

- ・学校運営協議会次第
- ・平成30年度学校経営計画及び学校評価
- ・平成31年度学校経営計画及び学校評価
- ・平成30年度学校教育自己診断
- ・37期生進路決定状況

これより進行は会長

2. 学校教育自己診断について

- ・11月に実施した学校教育自己診断の結果報告（首席より説明）

A委員：「保護者の“子どもの部活動に取り組む状況”に対する数値に関しどう感じているか」

校長：「部活動に関しては、60%の加入率を目指し、生徒会も様々な試みを行い定着を狙うも難しい状況が続いている。アルバイト等もあるが活動内容が厳しくなると離れるなど、部活動に対する姿勢にも問題があり、部活動以前の生活習慣が身につけていない部分もあると感じる」

A委員：「そのあたりを保護者はどう感じていると思うか」

校長：「部活動のあり方に関しては、賛否両論あると感じている。学校としてはアルバイトは原則禁止である。しかしながらアルバイトをして家の力になって欲しいと思っている

ご家庭があるのも事実。よって、今後そのような家庭の事情も考慮しアルバイトをしていても参加できる部活動など、そのあり方を考えていく必要性を感じている」

会長：「『学校の相談できる体制』に関する項目は学年毎3年間の比較があるとよい」

B 委員：「教職員のアンケート提出率が100%ではないがそれは問題ないのか」

校長：「提出を促す努力をしているが、100%の回収はかなわなかった。しかし、来年度は回収方法を変え、100%回収できるように考えている」

A 委員：「生徒の『指導に納得できる』および、保護者の『指導方針に共感できる』に対し生徒は1/3、保護者は1/5が否定的に感じていることが気になる」

校長：「生徒には寄り添って指導を行っているが、ケータイ、遅刻、服装(ピアス)などに対する生徒指導に対する意見と考える」

A 委員：「確かにそのように考える生徒も一定数いると思うが、数値が高いと思われる」

B 委員：「『指導』というくくりが大きいのでもう少し絞ってはどうか」

A 委員：「年々否定的な数値は低くなっているが、否定的な意見が高い項目があることも事実、この高い状態にあることの対策が今後の課題ではないか」

### 3. 37期生進路決定状況

出席者 大波多 知佳子 進路指導主事

・37期生進路決定状況について（大波多進路指導主事より説明）

進路指導主事：「文科省の大学に対する指導が厳しくなっており、その影響でAO入試による合格者が若干減っている。そのため指定校に切り替え受験する生徒が増えている」

「就職に関しては引き続き非常に多くの求人票をいただいております、今年は特に事務職やホテル業界から多く求人票をいただいた。企業、生徒それぞれが納得できる就職ができていますと考えています」

B 委員：「『フリーター・自己開拓』を希望する生徒の人数は多いのか」

進路指導主事：「ほぼ例年通り、ただ近年は高校生時代から芸能活動を行っている生徒が増え、その影響によるものもある」

### 4. 来年度学校経営計画について

校長：「『来年度学校経営計画』において【めざす学校像】、【中期的目標】の承認をいただかなければならないことについて説明」

「今年度が3年目で現状各先生が頑張っており、成果も現れてきているので大幅に変えることは考えていない」

「大事にしたいのは新学習指導要領を見こしての“授業改革”、そして昨今の SNS の問題でも問われている正しいモラル、社会のルールをしっかり指導することで“生きる力”を育てていきたい」

- ・ 来年度学校経営計画に対し承認をいただく

## 5、その他

- ・ 来年度校長が異動になった場合について  
『学校経営計画』の変更について校長より説明

## 6. 学校長閉会挨拶

- ・ 1年間のお礼、来期に向け委員の継続のお願い

次回予定確認 平成31年度第1回学校運営協議会開催予定日  
(5月末)

閉会

(以上)